

囲碁電王戦 FINAL 対局ルール

■ 対局スケジュール

- 第1局 3月24日(土) 中国時間 午前9時 対局開始 (日本時間 午前10時)
- 第2局 4月1日(日) 午前10時 対局開始
- 第3局 4月7日(土) 午前10時 対局開始

■ 対局者

- 第1局 聿昱廷 九段[中国] vs DeepZenGo (対局場：中国 北京)
- 第2局 朴廷桓 九段[韓国] vs DeepZenGo (対局場：韓国 ソウル)
- 第3局 趙治勲 名誉名人[日本] vs DeepZenGo (対局場：日本 市ヶ谷・日本棋院)

■ 主催

株式会社ドワンゴ

■ 対戦形式

互先、先番6目半コミ出し
日本ルール
対局は日本囲碁規約に準ずるものとする
休憩時間は設けず終局まで打ち継ぐ

■ ニギリ

各局でニギリを行い、黒番・白番を決定
全局棋士が握る

■ 対局者の持ち時間

持ち時間は3時間、残り5分から1分の秒読み
着手された石から手が離れた瞬間をもって着手とする

■ 立会人

各国棋士が務める
立会人は、対局全般（対局開始、終了、トラブルの判定、ミスの判定を含む）をコントロールする権限を持つ

■ コンピュータの対局条件

対局が始まってから対局終了するまで、コンピュータへの人の操作は、原則として打たれた手の指示以外許さないものとする

トラブルへの対処のみ、立会人の立会いのもとにコンピュータを操作することができる

■ コンピュータへの着手入力ミスについて

人為的な入力ミス（コンピュータへの棋士の手の入力）が発覚した場合、速やかに立会人に連絡し、立会いのもと正しい局面の状態まで復旧に努めるものとする。復旧にかかった時間は、消費時間に含めない。復旧した局面から再開するものとする。

（注：トラブル等、立会人の許可の下で、復旧している間の時間は、ストップウォッチ等の計測を以て、補正する。）

■ コンピュータのトラブルに関して

コンピュータにトラブルが生じたことがわかった場合、速やかに立会人を呼び対応する。トラブルのいかんにかかわらず、立ち会いのもと復旧に努めるものとする。

何らかのコンピュータのトラブルがあり、原因がコンピュータソフトに起因しない場合、復旧にかかった時間は、消費時間に含めない。

何らかのコンピュータのトラブルがあり、原因がコンピュータソフトにある場合： 1, 手番において着手が確定できない場合、その持ち時間を消費してコンピュータ開発者側がトラブル処理を行うこととする。なお、秒読みの場合はその限りではない。2, 棋士側の思考時間中にトラブルが見つかった場合、トラブル処理を始めることができる。その場合棋士側の着手の時点からコンピュータの持ち時間が消費される。

棋士またはコンピュータ操作者が自己責任で遅刻した場合、主催者の判断で対局の進行を決定する。

■ 定めなき事柄に関して

上記のルールに記述のない事柄で、新たに規定を設ける場合は、主催者側と出場者（プロ棋士・コンピュータソフト開発者）が誠意を持って協議して解決にあたることとする。

以上